



# 広報えびな

編集・発行  
海老名市役所 広報広聴課  
〒243-0492  
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎(046) 231・2111  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>  
\*この広報は再生紙を使用しています。

## 誕生に学ぶ命の尊さ

思春期の心身の健康や性・生命尊重の問題は、保健・教育の関係機関が連携して取り組むことが重要です。市では「母子保健計画」等に基づいて、2年前から市保健師による中学生の性教育を行っています。実施に当たっては、学校の指導資料や教科書等を参考に、用語や表現について養護・担任教諭と協議を重ね

ねたほか、事前にアンケートで生徒たちの性の知識や悩みを把握し、実情に合った指導を行ってきました。その成果が好評なことから、このほど初めて小学校でも性教育を実施することになりました。1月下旬に有馬小学校(児童数395人)1年生を対象に行われた、授業の様子をレポートします。



黒板にお母さんの絵姿が張られている教室で、保健師が子どもたちに語りかけています。「お母さんはお腹の中に、赤ちゃんしか入れない特別な部屋を持っています。今日は特別に、お母さんのお腹の中を見せましょう」「わーっ」と歓声が上がる中、お母さんのお腹へ小さな赤ちゃんが入った「お部屋」の絵が取り付けられました。



保健師の前で赤ちゃんの人形を抱いている子どもたち。教える側が一方的に話すのではなく、このように児童とのやりとりを多くする工夫がされた進行方法も、今回の性教育授業の大きな特徴です。

### 対話とふれあい

「新しい命が産まれることは、命がけの仕事なのです。お母さんの産み出そうとする力と、赤ちゃんの産まれようとする力が大切です。いよいよ出産に話がおよぶと、子どもたちのまなざしも真剣に。「赤ちゃんの心臓の音が、どくんどくとお母さんを励まします。赤ちゃんも、狭い通り道を少しずつくぐってき

ます。心の中でお母さんは『もうじき会える、もうじき会える』と繰り返します。無事に赤ちゃんが産まれると子どもたちはほっとした雰囲気。話を終えた保健師も「お母さんと赤ちゃんが一緒に頑張ったね。みんなも、とても頑張つて産まれてきたんだよ」と、やさしく話しかけていました。

### “出産の営み”理解に重点

手作りの図版・人形で親しみを

児童相手の初めての性教育のため、保健師と学校はこれまで以上に話し合いを行い、入念な準備を重ねました。保健師は、学校側の「赤ちゃんがどのように産まれてくるのか分からない児童もいる」という話を参考に、お母さんのお腹に赤ちゃんが宿つてから産声をあげるまでを、スムーズに理解させる点に最も神経を注いだそうです。

このため授業では、赤ちゃんの「お部屋」と「通り道」に話題を絞ったほか、授業の前にその緒が付いた赤ちゃんの人形を抱かせたり、出産のドラマを描いた絵本を朗読したりするなど、子どもたちがリラックスし

## 小学校で初の性教育授業

問 予防保健課(☎235・7880)

### 海老名市 母子保健計画

平成9年に策定された市母子保健対策の基本指針。同14年に、国民運動計画「健やか親子21」に基づいて「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」等の主要課題を盛り込み改正。同時に子育て対策の基本指針「児童育成計画」との連携も強化しました。



慎重に事前準備が重ねられた1年生児童の授業風景